ヒロシマ・ナガサキ・六ヶ所めざして

沖縄からスタート

ピースサイクルは、自転車を使って全国を走る平和運動です。毎年６月から８月にかけて、沖縄をスタートし、ヒロシマ・ナガサキ・六ヶ所村に向けて、日本全国をサイクリングしながら核兵器の廃絶をはじめ平和・環境・人権に関することをアピールしています。

ピースサイクルは、1986年に大阪の郵便局で働く青年たちが「身体を使って平和を表現したい」と、８月の広島での原水禁大会を目指して自転車で走ったことから始まりました。それまでも、平和行進やリレーマラソンで広島・長崎まで向かう運動はありましたが、新たに自転車の運動が加わったことになります。

さらに、2005年から「国会ピースサイクル」として、３月から６月にかけ、憲法９条改憲を許さない行動を中心とした国会に向かうピースサイクルも取り組まれています。

PC一口解説

●ピースサイクル
ピースサイクルという名称は、ピースとサイクリングをかけ合わせた造語です。マレーシアの中国語新聞では、和平行脚車と紹介されていました。また「PC」は、「ピースサイクル」の略語です。

●六ヶ所
青森県六ヶ所村のことで、原発の高レベル核廃棄物貯蔵施設や再処理工場がある村です。ピースサイクルは、核兵器だけでなく原発の核も問題にすべきだと考えています。放射能汚染はもちろん、今では、核兵器に転用される危険性が大きくなりだしています。

つくろう 戦争のない世界を！
守ろう 未来の環境！

ピースサイクルへのご招待

ピースサイクル全国ネットワーク
東京都千代田区三崎町 2-6-2　ダイナミックビル たんぽぽ舎内
☎ 03−3238−9035
ホームページ　http://blog.peace-cycle.main.jp/
郵便口座：00180−9−543806

PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE

PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE PEACE CYCLE

PC一口解説

●非核都市宣言
自治体が、自らの地域に核兵器を持ち込まないことや平和行政の推進などを宣言するものです。自治体訪問の際、まだ宣言していない自治体には早期に宣言するように、宣言している自治体には平和条例化や予算化、平和基金の設置などの歩進んだ施策を要求しています。
自治体の平和施策は、多くの米軍基地を抱える沖縄の各自治体が進んでいます。

●平和・環境・人権
ピースサイクルの中身を表現する言葉はいろいろありますが、基本となるテーマは「平和・環境・人権」です。
市民活動では、一つのテーマを中心とした運動が多い中で、この三つの課題に取り組むピースサイクルは、非常に幅の広い運動だといえます。だからピースサイクルにはさまざまな人々が参加しています。

地域を結んで自転車が走る

基地も原発もいらない社会を！

ピースサイクルは、自分の住む町から隣の町へ、自分の住む都道府県から隣の都道府県へと、平和のメッセージを伝達しながら走ります。
一日の走行距離は、短いところで約30キロ、長くて90キロほどです。中には、夏休みを利用して、東京から広島・長崎まで走破する中高生や市民もいます。
その途中で、自治体や基地、原発関連施設に立ち寄ります。自治体には非核都市宣言や平和行政の申し入れ、自治体の首長からピースメッセージを受け取ります。
また憲法９条に反して私たち市民の生活とアジアの民衆を脅かしている自衛隊基地や米軍基地、大事故を繰り返す原発施設に対しても、抗議と申し入れを行っています。

平和は世代を超えた みんなの願い

誰でも気軽に参加

ピースサイクルには、平和・環境・人権を大切にしたいと願う人々が、世代を超えて参加しています。小学生から80歳を超えた高齢者まで、もちろん、性別も関係ありません。
ピースサイクルは、誰でも参加できるようにと、自転車のスピードは一番遅いに合わせて走ります。みんなで励ましあいながら、力を合わせて目的地に向かいます。
夜は、お楽しみの交流会がもたれます。走り終えた壮快感に加えて、うちとけた話題などで「心が和む」といった人びとが訪れます。地元の人々と平和や環境・人権についての語り合い、意見を交換しあって、ネットワークを広げていくのもピースサイクルの大きな役割です。